

第2章 地域の概況

第2章 地域の概況

2.1 長野広域連合管内の概要

本連合は、長野県の北部に位置し、面積は1,558.39km²、範囲は東西約56km、南北約50kmにわたり、長野市を中心とした半径約25kmの円に包含される地域を圏域としている。

構成市町村は、3市4町2村（長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、小川村、飯綱町）で構成されており、人口規模約54万人余を擁する広域市町村圏である。

本連合管内は、重要な観光資源となっている温泉が多数点在するほか、緑豊かな山々と自然の宝庫である高原や千曲川、犀川などの水量豊かな河川、さらには上信越高原国立公園を中心とした山里の自然環境など、信州固有の風土を有している。

対象事業実施区域が位置する千曲市は、市の中央に千曲川が流れ、周辺を山地に囲まれた地域であり、市内には信州屈指とされる戸倉上山田温泉が存在するほか、“一目十万本”といわれる日本一のあんずの里、国の重要文化的景観に選定された姨捨の棚田など魅力的な観光資源がある地域である。

本事業の対象事業実施区域となる千曲市大字屋代字中島は、千曲市の北端に位置し、現在は堤防道路沿いの農地として利用されており、北側には一級河川の千曲川が流れ、その対岸は長野市となっている。

また、南側には長野自動車道の更埴インターチェンジ、西側には北陸新幹線の高架、東側にはしなの鉄道及び国道18号が存在し、対象事業実施区域内には中部電力株式会社所有の鉄塔が存在している。

対象事業実施区域は、現在、都市計画法上の用途地域は指定されていない。なお、「千曲市都市計画マスタープラン」（平成21年8月 千曲市）によると、対象事業実施区域及びその周囲は、既に工業施設の立地もみられるほか、交通利便性にも優れることから、今後良好な工業地の誘導を図るため、工業系用途地域の指定を検討していく地域とされている。